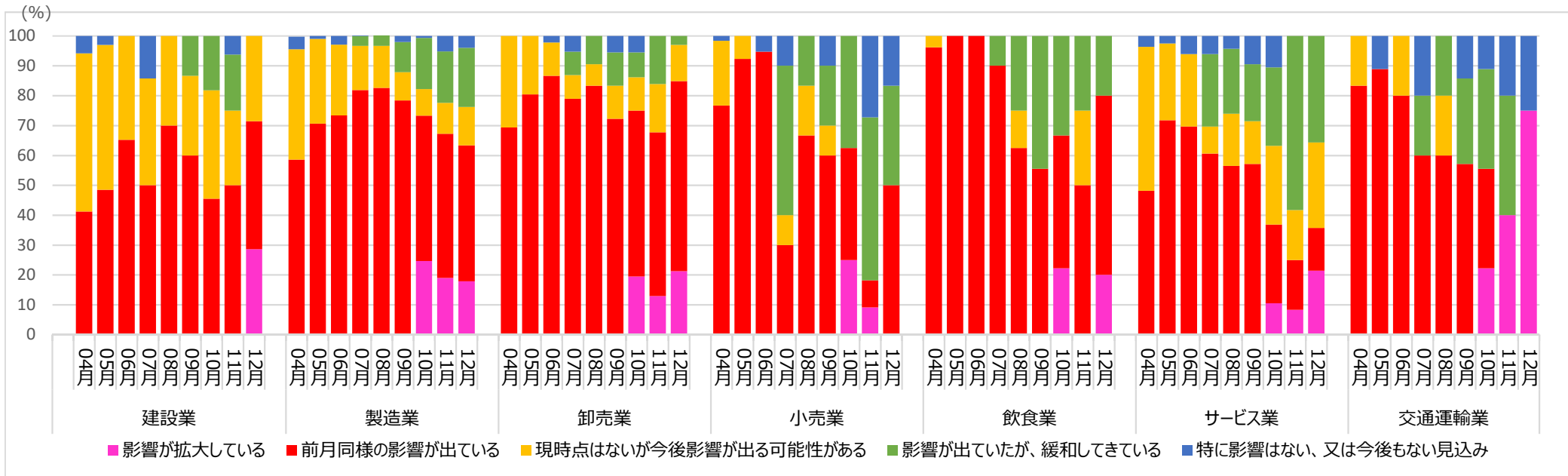


新型コロナウイルス感染症の市内経済への影響（令和2年12月度調査）

※市内企業へのアンケート、ヒアリング調査結果から

感染者数が急激に拡大している中、多くの市内企業が引き続き影響を受けており、先行きの業況見通しも総じて厳しい状況です。



(令和2年12月度 複数回答)

内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業	交通運輸業
製品・サービス等の受注・売上減少	100%	84%	85%	67%	80%	79%	50%
自社の生産拠点・仕入れ先の変更による調達コスト増	0%	2%	9%	0%	0%	0%	0%
サプライチェーンへの打撃による製品等の納期遅れ	0%	6%	21%	17%	0%	0%	0%
消費マインドの悪化に伴う客数減少	43%	10%	15%	50%	80%	29%	50%
従業員の休暇取得に伴う人手不足による企業活動の停滞	0%	3%	0%	0%	0%	7%	25%
従業員や顧客の感染予防策等に伴うコスト増	0%	11%	3%	33%	20%	14%	50%

アンケート調査を通じた3か月後の業況見通しについての主な声

- ・民間の受注が来年以降減少する見込。（建設業）
- ・業務用製品の受注が見込めない。主要取引先との取引が低迷している。（製造業）
- ・半導体、食品機械が好調である（製造業）
- ・サプライチェーンの崩壊により、仕入品の生産拠点変更に伴う投資コストの発生と、仕入価格の増加が見込まれる。（製造業）
- ・世界的に材料が値上がりし、コスト高になっている。（卸売業）
- ・インバウンド関連の受注が見込めない。（卸売業）
- ・最悪時からは回復して、低め安定。（小売業）
- ・融資需要が落ち着いた一方、運用アドバイス需要が高まっている。（金融業）
- ・宴会の予約がない（飲食業）
- ・現状ではニーズが読めないが、家庭向けの動きは好調である。（サービス業）
- ・受注が見込めない。特に深夜帯の飲食店からの需要が減っている。（交通運輸業）